

2024年10月31日

RESTECフォーラム2024 ～スペース・トランスフォーメーション時代に向けて～

対外協力の新たな取り組み

一般財団法人リモート・センシング技術センター
対外協力室 吉田 豪

RESTECビジョン 「高める」 「つなぐ」 「分かち合う」

リモートセンシング技術に関わる開発利用の成果を、**広く国の内外の社会と分かち合います**

対外協力とは

- ・ 2024年4月に対外協力室を設立
- ・ 複数の部署に跨っていた事業を集約し、効果的に推進する

公益性の高い事業

・ 人材養成事業

財団保有技術を活用し、顧客のニーズやレベルに合わせた人材養成の実施

・ 普及促進事業

公共利益の観点から、リモートセンシングの利用と、普及の促進に取り組む



対外協力によるスペース・トランスフォーメーションの推進

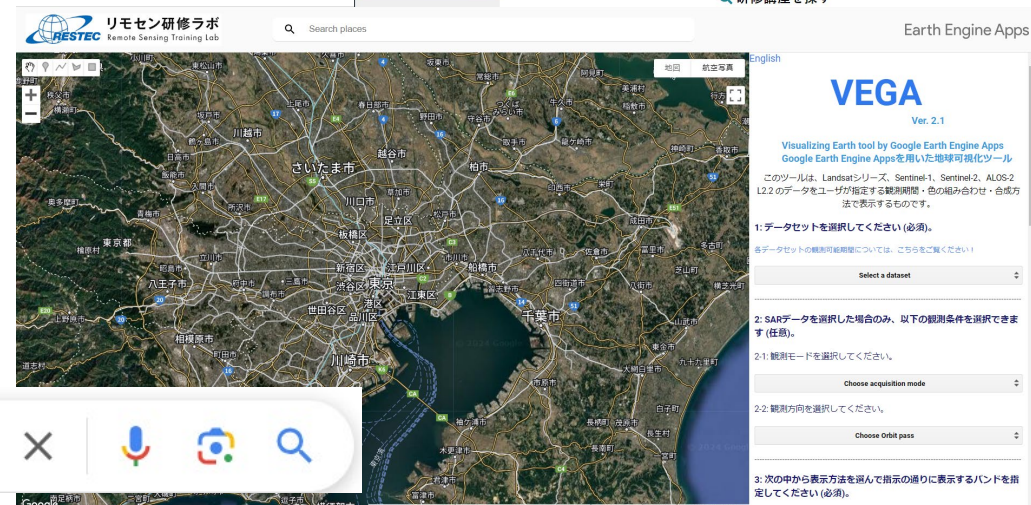
事業内容

1) 財団が主体的に実施する財団研修（リモセン研修ラボ）

- ① 一般研修※
- ② e-Learning動画
- ③ 無料講座と無料ツール（[VEGA](#)）
- ④ 個別研修



※リスキリングを通じた
キャリアアップ支援にも活用

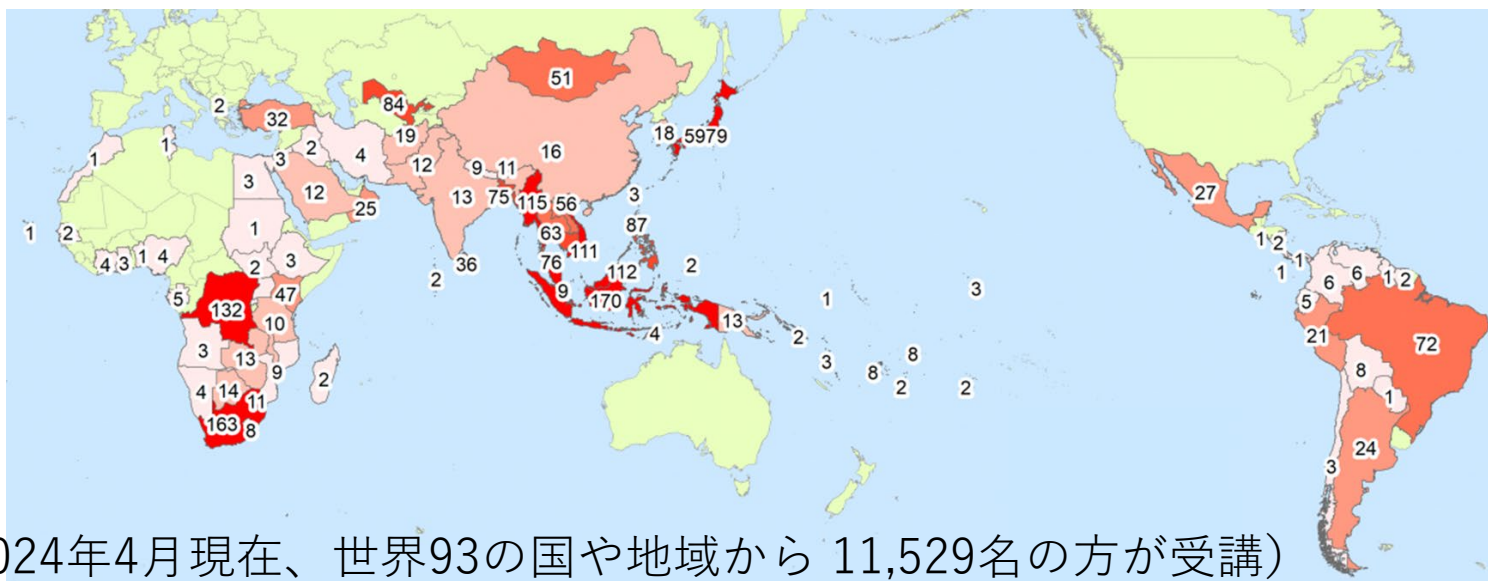


人材養成事業（2 / 2）

事業内容（続き）

2) 他機関からの要望に基づく研修（FY2024事例）

- ①国際協力に基づく研修プログラム(JICA)
- ②技術の利用促進を目的とした研修プログラム（JAXA）
- ③アジアやアフリカ等からの要望に基づく
さくらサイエンスプラン(JST)



事業内容

1) RESTEC研究助成

- ・ リモートセンシング技術の普及を目的として研究者等（特に将来の活躍が期待される若手研究者）に研究費を助成
- ・ 助成額は最大100 万円/件
- ・ 採択実績：2022年度：8件
2023年度：10件
2024年度：9件



普及促進事業（2 / 2）

事業内容（続き）

2）国際協力案件の実施

- ・ コンゴ民主共和国/リモートセンシング活用に向けた活動（2011年～）
- ・ アフリカ野生生物保護活動の支援（2013年～）
- ・ インド/森林調査局との協定の基づく活動及び“廃棄物処理・資源有効利用”に向けた活動の支援（2024年～）

3）その他普及促進活動



1) 人材養成事業

- ・保有する技術やノウハウを生かし、多様化するニーズに応じて、リモートセンシング技術の知識や実践的な技術を身に付けるナレッジシェアリングの実施
- ・受講生等のネットワークを活用し、利用の裾野の拡大を目指す

2) 普及促進事業

- ・国内外におけるリモートセンシング技術への理解増進と利用の普及を目指す
- ・公共利益のため、リモートセンシング分野における大学や学会との連携に積極的に取り組む

上記事業を通して、世の中のスペーストランスフォーメーションを促進する

